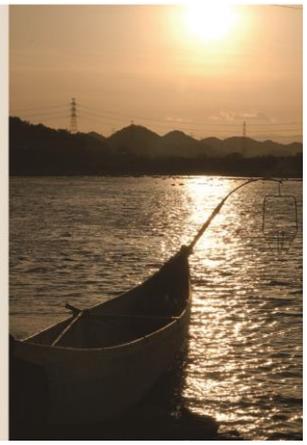




Rotary 関ロータークラブ

2019-20 年度国際ローターテーマ RI 会長 マーク・ダニエル・マローニー
 「ローター：ローターは世界をつなぐ ROTARY: ROTARY CONNECTS THE WORLD」
 2019-20 年度 関ロータークラブ会長 テーマ
 ～私ができる社会貢献をしよう～ 54 代会長 土屋佳久

■ 会長 土屋佳久 ■ 副会長 木村 聡 ■ 幹事 尾崎嘉彦
 白田龍司



本日のプログラム 第 2550 回例会 2019 年 7 月 30 日(火)



「職場例会」

青協建設株式会社 新社屋



前例会の記録・第 2549 回 7 月 23 日(火)12:30

「ローター財団へのご理解と
 補助金制度について」

国際ローター第 2630 地区
 ローター財団部門補助金小委員会
 委員長 堀部哲夫様

- ◆ 開会点鐘
- ◆ 「それでこそローター」斉唱
- ◆ 会長挨拶

【7/13 ローター財団研修セミナーの報告】



この日のセミナーは補助金の話
 も勿論ありましたが、後に行われ
 れた講演も「ポリオ根絶のため
 にラストスパートを！」という
 演題だった様に多くの時間をポリ
 オの話だった印象が強く、この
 1 年は相当力を入れていると
 感じました。ローター財団の
 標語は「世界でよいことをしよ
 う」です。その中の 1 つが「ポリオ撲滅」活動で
 さす。今年からは撲滅ではなく「根絶」という強
 い言葉に変わっています。現状の世界のポリオ患
 者は 3 カ国 (アフガニスタン、パキスタン、ナイ
 ジェリア) です。患者が「0」とみなされる為には
 3 年間発生しなかったという証明が必要でナイ
 ジェリアは 2 年間発生しておらず実際は残り 2 カ国
 になるだろうと言われています。日本でも現在予
 防接種は 1 歳半までに行う事を勧められています
 が、費用は各自自治体負担となっている為、根絶で
 きればその費用を別の必要な所へと回せるとい
 う事です。本年度「ポリオ根絶」の為に地区の寄
 付目標は会員 1 人当たり 30 ドル達成、となっ
 ています。私がお願いしています奇数月の例会で
 の募金活動が継続できればクラブでの目標達成は
 可能です。ご協力をお願いいたします。

◆ 委員会報告
 ◎ 出席委員会 委員 本田昇司
 会員 50 名中 出席 26 名 出席率 54.17%
 ◎ ニコボックス委員会 委員 古田貴巳
 会長・副会長・幹事以下 25 名 31,000 円の投函

※ 紙面の都合上、内容は割愛させていただきました
 ◆ 委嘱状授与

国際ローター第 2630 地区
 R 財団部門補助金小委員会 委員長 堀部哲夫さん



国際ローター第 2630 地区
 奉仕プロジェクト部門 社会奉仕委員 長尾一郎さん



◆ IGM の報告 報告者 古田貴巳
 日時：7 月 22 日 (月) 18:30 場所：にしき
 ホスト：清水善光 リーダー：東谷好司
 R 情報 後藤信介
 義務出席者：古田貴巳、西本理美
 特別出席者：今峰徹・土屋佳久、岩倉宏幸
 大澤竜一、岩本雅文、山谷庸二

R情報 後藤さんよりテーマが発表されました。(テーマ)クラブに対する疑問や課題について以下に意見をまとめます。

- ①各種大会への新入会員の出席者が少ないので、出席義務者には出席を働きかけた方が良いのでは？しかし一方であまり求めすぎても会員の減少につながる恐れがあるのでは？
- ②各種大会へは義務出席者への案内だけでなく、会員全員にアナウンスしても良いのでは？
- ③例会の出席率を上げなければいけない。魅力ある例会であることが必要である。
- ④例会食のロスをなくさないといけない。月初めに例会出席確認が行われているが、変更がある場合は例会前日までに出欠の連絡をした方が良いのではないかと。
- ⑤パスト会長にはもっと要職についていただき、活躍の場を増やす必要がある。
- ⑥グループラインの活用について。誕生日ラインも結構だが、行事案内等をライン活用すると良いのではないかと。そのためにはグループライン登録者の把握が必要である。
- ⑦ガバナーの選出が課題である。数年後には東海北陸道分区にガバナー選出の依頼があると思われるので、クラブとして長期計画委員会を活用し検討する必要がある。
- ⑧IGMについて。最近のIGMの出席者は少ないのではないかと。月曜日でなく週末に行うことによりもっと出席者が増えるのではないかと。また、議事録作成者も当日指名でなく予め決めて連絡しておいた方が良いのではないかと。

◆「ロータリー財団へのご理解と補助金制度について」

国際ロータリー第2630地区

ロータリー財団部門補助金小委員会

委員長 堀部哲夫様



ロータリー財団は、皆様に年次基金寄付(EREY)、恒久基金寄付、ポリオ撲滅活動資金など色んなご寄付をお願いしています。ロータリーの本分は「職業奉仕」ではとご批判を受けるところです

が、世界の趨勢と日本では少し隔たりが有るようです。日本人としては、寄付を悪いことだとは言わないが、何に使われ結果はどうなったか気になるようです。しかし、世界では寄付行

為そのものをステータスに考える人たちも多くいます。ましてや、その寄付先が世界的に信頼されているロータリーならなおさらであります。アメリカのチャリティーナビゲーターはロータリー財団を10年連続4つ星(最高評価)しています。これは、アメリカのボランティアやチャリティー団体の2%以下の団体しか認められない評価です。如何にロータリー財団が世界で高い評価を得ていて、ロータリーの社会奉仕活動が如何に世界から期待されているかと言う証です。ロータリーが「世界社会奉仕」に積極的になったのは何時ごろからかその変遷を少しお話しします。ご存じのようにロータリーは1907年に出来ました。誕生時は会員相互の信頼により職業の発展を狙ったものでした。1911年にシェルドンが登場し職業奉仕を唱えました。彼はビジネススクールの校長で、その内容は彼の学校の教科書でした。職業の倫理観やサービスの有り方を唱えたものでした。そんな中、1917年頃から社会奉仕を唱える人たちが台頭してきました。一部の人は、社会奉仕をためらうRCを辞めてライオンズを設立しました。RCの分裂の危機でした。同じ年、アーチクランフがR財団のもとになる「ロータリー基金」を呼びかけました。自らの職業の発展を願う「職業奉仕」から「他人を思いやり、他人の為につくす」人道的奉仕活動に基軸が変わりました。1923年には有名な決議23-34が採択されました。これは、よく職業奉仕のバイブルの様に言われますが、この題名は「社会奉仕活動に対する指針」であります。1962年「世界社会奉仕」を唱え、使われる単語も「コミュニティ」から「ワールドコミュニティ」に変り、ロータリーは「世界平和」を唱える団体に発展してきたのです。会員の皆さんにロータリー入会の動機をアンケート取りますと、「国際社会や地域社会に貢献したい」が70%で一番であります。今、企業においても社会貢献が求められています。「あなたの会社はどんな社会貢献をしていますか？」と社員が周りから問われた時、「当社の社長はロータリーで社会貢献しています。会社もそれを応援しています。」と答えられたら如何でしょう？R財団の世界での貢献を知って頂き、是非会社で社員の方たちにお話してください。ご存じのように世界ポリオの撲滅はRIが中心となり、WHOやユニセフと提携して進められています。平和フェローシップは奨学金を通じて世界平和と紛争予防の担い手となる人材を育て、平和推進者の世界ネットワークを築いています。毎年100名近くが、ロータリーの奨学金をもらい平和センター提携大学で学んでいます。また、これとは別に有る奨学金制度でも多くの人材を生み出し、国連や世界各地で活躍しています。日本人も多くいます。元国連難民高等弁務官の緒方貞子さんは大変有名です。今現在、国連事務次長軍縮担当上級代表の中満泉さんもロータリーの奨学生です。この地区から送り出した奨学生の神山由紀子さんは、上級インターエージェンシー調整担当官として、丸山大輔さんは国連から派遣され世界各地を飛び回っていると聞いてい

ます。こうした財団の活動は、皆さんがロータリーに入り R 財団にご協力頂けるおかげで成り立っていることです。ロータリアンとして自信を持って、「我々は世界に貢献している団体です」と胸を張って言ってください。次に、財団のもう一方の重要な活動である補助金制度についてそのあらましを説明します。これは、2013 年—14 年から始まった「未来の夢計画」としての活動です。これ以前からの補助金は、分かりづらく使いにくいものでした。そこで改革されました。①、手続きを簡素化し、資金の流れを明瞭にしました。②、ロータリアンが自ら行動する事業、ロータリーらしい事業に的を絞りました。③、地元、海外どちらでも使用できるようにしました。④、TRF の決定権より地区の決定権を広げました。④、補助金を使って規模の大きな事業を行えることによりロータリーの公共イメージを向上させる事が出来ます。ロータリー入会の動機は、地域社会に貢献したいが 70%と最も高いことは先ほど申しました。ロータリーらしいメリハリのある活動をする事は会員増強につながります。ロータリーらしい活動は決議 23-34 をよくお読みください。そして、ロータリアン自ら活動する事により、達成感や自己研鑽にもつながり、ロータリー入会の意義を感じられ、退会防止につながります。今、メンバーが少ないクラブが増えていて、事業資金が少なく目だった活動が出来ないクラブが出てきます。クラブの拠出金は少なくとも補助金を利用して大きな事業が出来ます。それでは、補助金のお金の流れを説明します。日本人的には寄付したお金の流れは気になります。自分たちの寄付金がどの様に扱われているか明瞭であることが必要です。補助金のシェアシステムについて理解してください。皆さんが財団に寄付する寄付金は 3 種類あります。年次基金寄付 (EREY) 恒久基金寄付 (ベネファクター) 用途指定寄付 (ポリオ等) です。2630 地区では EREY は一人 150 ドル以上をお願いしています。ポリオについては一人 30 ドル以上をお願いしています。こうして集まったお金の内、EREY を 3 年間運用します。運用益は、財団の運営費に回されます。3 年後、元金は補助金の原資として使われます。それとは別に恒久基金の運用益の 50%が補助金の原資になります。そうして集まった原資の 50%を地区活動資金 (DDF) として地区に頂けます。残りの 50%を国際活動資金 (WF) として使用します。WF には恒久基金の運用益の残り 50%も入ってきます。地区活動資金 (DDF) の 50%を地区補助金として、残り 50%をグローバル補助金として使用できます。グローバル補助金には、DDF と同額の WF が使用されます。こうして、私たちの寄付金は、自分たちが行う事業ですべて使うことが出来るわけです。地区補助金とグローバル補助金の特徴を説明します。地区補助金は、比較的小規模なプロジェクトで、国内、国外どちらでも使用できます。地区が補助金を管理し、短期の一度のみの事業に使用できます。2630 地区では 3 年前のクラブの EREY により支給割合を決めています。EREY が 200 の場合、クラブからの拠出

金が 3000 ドルで 12000 ドルの補助金を使えます。合計 15000 ドル約 160 万円の事業ができます。グローバル補助金は、ロータリーの 6 つの重点分野に關している事業に使用できます。持続可能でかつ測定可能な大規模な事業に使用できます。実施国側と援助国側の RC が共同で提唱します。補助金には DDF に WF が上乘せされますので、大きな金額になります。これからのクラブの奉仕プログラムは補助金を利用した事業が定番であると言っても過言では有りません。EREY の寄付は自分たちのクラブの事業費の貯金だと考えられます。近年の 2630 地区の補助金利用状況です。地区補助金は概ね使い切っていますが、グローバル補助金はあまり使われておらず、DDF が余っています。次年度から、余った DDF の 20%を 2 年に分けて使用できますので本年募集の地区補助金使用可能額は、大幅にアップしています。補助金を利用するには複数年の事業計画が必要です。会長ノミニーの時から、会長になった時に補助金を利用するか否か検討しておく必要が有ります。ノミニーの時期に市民や地域社会の声を聞き調査します。エレクトの年に事業計画を立て、補助金申請して、会長の年に事業実施をします。CLP を活用しクラブ長期運営委員会などを作り、複数年掛けて事業を練り上げるクラブ運営の時代に代わってきています。

◆幹事報告

◎8 月の例会予定表配布

◎例会終了後「理事、役員会」開催

◆7 月ゴルフ会

◎日時：7 月 24 日 (水) 9 : 06 スタート

◎場所：ぎふ美濃ゴルフ倶楽部



優勝：後藤信介さん

次例会のご案内 8 月 3 日 (土) 9 : 00
「タグラグビー普及事業」 8/6 (火) 変更
於：せきしんふれ愛アリーナ
(関市総合体育館 サブアリーナ)

例会：毎週火曜日 12 : 30

例会場：関市本町 6-20 大垣共立銀行関支店 2F

事務局：関市平和通 7-10-25 アメリカ 2F